

Title	〔特集一〕 特集「学界時評」について
Author(s)	
Citation	中国研究集刊. 2013, 56, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/58726">https://hdl.handle.net/11094/58726</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

〔特集一〕

## 特集「学界時評」について

大阪大学中国学会では、このたび「学界時評」特集を企画しました。

数年後、数十年後の研究者が過去を振り返ろうとするとき、大きな手がかりとなるのは、こうした特集であろうと考えます。中国思想史研究が大きな転機を迎えている現在、このような特集の必要性が強く感じられました。また、この特集は、同時代人、特に若手研究者にとっては、研究の有力な手引きとなることでしょう。

しかし、学界全体を見渡して、時評を執筆するのは容易なことではありません。そこで、この特集では、第一線で活躍中の研究者の方々に、時代を区切り、分担執筆していただくこととしました。主要項は次の通りです。

・中国哲学分野全体を「先秦～秦漢代」「三国六朝～隋唐」「宋～明代」「清～現代」の四部に分割し、それぞれ担当者が執筆する。ただし、行論の都合で、他の時代や分野に言及することもある。

・対象年度は、二〇〇九年以降原稿執筆時（おおよそ二〇一二年）までとする。

・執筆の方法は各担当者に一任し、全体としての統一はあえてしない。例えば、注目すべき論著を数点だけ取り上げ、それを重点的に論評するという形式の原稿もある。

・単行の論著だけではなく、企画物、シリーズ、論文集、概説書、一般書なども視野に入れ、さらに、国内外の学会・シンポジウムなどを取り上げるなど、当該分野の動向を良く示すと思われるものを柔軟に取り扱う。

（編集委員会）